

# Shimoda お知らせ Information

## 秋の全国火災予防運動

11月9日から15日は秋の全国火災予防運動期間です。市消防団では、初日の9日にポンプ車による防火啓発パレードを行います。

また、期間中、各分団による消火演習を実施しますのでご協力をお願いします。

空気の乾燥や暖房器具の使用により火災が発生しやすい時季を迎えます。火の元には十分ご注意ください。

### 消火演習日程

- 11月9日(土)午前6時～第3分団・第4分団(稲梓地区)、第5分団(浜崎地区)、第7分団(白浜地区)
- 11月15日(金)午後7時～第1分団(下田地区)、第2分団(稲生沢地区)、第6分団(朝日地区)

問合せ先 市民課消防安全係

☎4145



## 10月中 みんなで元気いっぱいとんで、はねて

10月には珍しい暑さが続きましたが、市内各地の幼稚園、保育所で運動会が開催されました(写真は下田幼稚園の運動会)。日ごろの練習の成果を発揮し、お父さん、おじいちゃんのカメラを持つ手も熱くなります。



## 10/18 安全確認ピカッと大事

中島橋交差点付近でピカッと作戦の啓発活動が行われました。これからどんどん秋が深まり、日没が早くなります。ドライバーも歩行者も早目のライト点灯、ピカッと作戦にご協力ください。



## 10/19 しっかり狙い通り飛んで!

稲生沢小学校で遊・VIVA! が開催され、たくさんの子供たちが集まりました。今月の遊・VIVA! は11月23日(土)、年に一度の「村まつり」です。楽しい出店など盛りだくさんの内容ですのでぜひお越しください。



## 9/25 下田の防災のために

創業100周年を迎えるサガミシードより、市へ津波避難場所案内看板11基と発電機5台が寄贈されました。看板は市役所、文化会館、下田駅前、海水浴場に設置し、発電機は、災害時に有効活用できるよう広域避難所に配備します。



## 10/13 もしかして、真剣勝負?

今月号の表紙を飾った手筒花火の翌日、河内区諏訪神社では神相撲が奉納されました。大人の迫力溢れる取組の後、子どもたちによる相撲大会も開催されました。大人顔負けの迫力にみんなの歓声も一段と高くなりました。



## 10/19 これからどんな絵本にめぐりあえるかな

市立図書館で「おはなし会 つくってあそぼ」が開催されました。優しい声の絵本の読み聞かせにお子さんの目はくぎ付け。その他、みんなで一緒に歌ってダンスや工作を行い、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。

### 11月の納税

(納期は12月2日)

※11/30が(土)のため、12/2が納期です

国民健康保険税	7期
介護保険料	5期
後期高齢保険料	4期

\*納期内に納めましょう。  
\*納税は便利な口座振替で  
\*口座振替は残高確認を!

### 緊急地震速報の放送試験訓練を行います

全国瞬時警報システム(J-ALERT)から送られてくる緊急情報を確実に皆様へお伝えするため、同報無線の放送試験を行います。

この機会に、短時間であわてずに身を守る行動について考えませんか。

日時 11月29日(金) 午前10時15分頃

※訓練のため、下田市メール配信サービスは送信されません。

問合せ先 市民課防災係 ☎4145

### 緊急速報メール(エリアメール)の試験送信の実施

地域によっては、訓練開始時間が異なることがあるかもしれません。お住まいの地域の防災訓練に積極的に参加し、想定される南海トラフなどの大規模地震に備えてください。

問合せ先 市民課防災係 ☎4145

### 12月1日(日)は地域防災訓練

下田市の地域防災訓練は、大規模地震が発生した想定で訓練を行います。

午前9時に地震発生のお合図のサイレンを鳴らします。

問合せ先 市民課防災係 ☎4145

### 緊急速報メールを受信する

・メール受信(鳴動)により不都合がある方は、携帯電話等の電源を事前にお切りください。

・緊急速報メールを受信すると、携帯電話等の設定によっては、マナーモード中でも着信音が鳴ります。

・携帯電話等受信端末の設定方法等につきましては各携帯電話会社のホームページなどをご確認ください。

問合せ先 静岡県危機対策課 ☎054122113601

## 新渡戸稲造

下田とゆかりのある 意外な人物

河内お吉が淵の国道沿いに立つお地蔵様を見たことがありますか?

この地蔵はお吉地蔵と呼ばれ、「武士道」の著者、5千円札の肖像としてなじみ深い新渡戸稲造が建てたものです。

新渡戸稲造は東京女子大学などの学長を歴任した学者であり、国際連盟事務次長も務め、大正から昭和初期にかけて活躍した国際的な人物です。

あるとき、新渡戸が大阪で「お吉」を題材にした芝居を観劇し、国際社会に翻弄され、不運な生涯を閉じたお吉のことを悼み、この地蔵を建てたと言われています。

新渡戸自身、アメリカ人女性と結婚しており、その思いを重なる部分もあったかもしれません。

新渡戸がお吉を詠んだ、からくさの浮名の下に 枯れはてし 君が心は大和撫子 という歌があります。

様々な国際紛争を解決し、「太平洋の橋」となった新渡戸稲造。お吉地蔵が建立された昭和8年、カナダで開かれた会議に出席中に病死してしまい、完成されたお吉地蔵を見ることはありませんでしたが、その思いは今もこの下田に立ち続けています。

お吉地蔵 (昭和8年7月17日銘)